

きもつき119

救助技術訓練



平成24年度全国消防救助技術大会出場
ロープブリッジ渡過 豊重彰太副士長

管内の人口

147,731人 平成24年10月1日（現在）

男	女	世帯数
70,022	77,709	69,271

編集・発行 大隅肝属地区消防組合
TEL 0994-43-1188



火災防ぎよ訓練

平成24年11月

第 81 号

消すまでは 出ない行かない 離れない
(平成24年度防火標語)

もう設置はお済みですか？

住宅用火災警報器

● 平成23年6月1日から設置義務化になり、1年以上経過しました！●

● 【奏功事例 平成24年6月発生 鹿児島県内】

お年寄りが、煮物を温めようとガスこんろに火をつけたまま外出、となりの住人が警報器の音と白い煙がでているのに気付き、119番通報。このことで、火災にいたりませんでした。



『検査基準をクリアした日本消防検定協会「鑑定マーク（NSマーク）」がついたものを選びましょう。また、火災警報器は大型物品販売店や防災機器販売業者等によって販売されています。』

くれぐれも、悪質な訪問販売等の被害にあわないようご注意ください。



WEB講習を利用した普通救命講習までの流れ

インターネット上でのWEB講習（約1時間）

項目	時間
応急手当の基礎知識	・応急手当とは
	・救命の連鎖
	・救命に必要な応急手当
	・心肺蘇生法
	・まとめ
約1時間	

修了テストに合格し受講証明書発行



消防署が行う普通救命講習実技（2時間）

項目	時間
応急手当の重要性	応急手当の目的・必要性、心停止の予防等
	基本的心肺蘇生法
	AEDの使用法
その他の応急手当	異物除去
回復体位、止血法、その他必要な応急手当	
2時間	

一般市民向け応急手当WEB講習

目の前で誰かが倒れてしまったとき。
あなたは助けてあげることができますか？
特別な資格がなくても、誰にでも行えるのが応急手当です。
万が一の緊急事態に備えて、適切な応急手当を学び、日頃から身につけておきましょう。



WEB画面

一生懸命練習しました。
各チームと休日を利用して、一生懸命練習に励んでいたました。



急救隊長にローズクイーンかのやの高橋友香さんを任命し、消防の広報活動を行つてもらいました。応急手当コンテストでは、管内の様々な職種の十四チーム（二人一組）が参加し、突然胸を押されて倒れた人を助けるため心肺蘇生法、119番通報、AEDを使用



八月二十六日、中央消防署では住民の方々に救命処置の重要性と関心を高めてもらうため、プラッセだいわ鹿屋店において救急フェアを開催しました。実施内容は、セーフティーアンダーライブアドバイザーによる展示、消防音楽隊による演奏など盛りだくさんでした。

救急フェア開催

- ・あじさい（株EGUCHI）
- ・根占保育園A
- ・みどりの園
- ・おおきな木
- ・ほんわか（新樹学園）
- ・あじさい・らんらん（株EGUCHI）
- ・根占保育園B
- ・みどり明星クリニツク通所リハビリ
- ・SBC68チームK（志布志石油備蓄）
- ・G・H・I（いきいき館）
- ・和光学園
- ・寿消防分団
- ・レモンガス
- ・つじみ保育園

競技順



- ・優秀賞
- ・最優秀賞
- ・みどり明星クリニツク通所リハビリ
- ・根占保育園A





特別救助隊が化学防護服装着により劇・毒物の拡散防止活動



医療チームによる応急処置

九月七日に救急医療週間の一環として、集団災害事故に対する救急体制の確立と関係機関の連携を図ることを目的に、錦江町田代の国道交差点内で劇・毒物を積載した軽トラックとマイクロバスの衝突事故で多数の負傷者が発生したとの想定で訓練が行なわれました。地域住民が負傷者となり、救急隊の迅速な処置及び搬送、応急救護所では肝属郡医師会立病院の医師・看護師による応急訓練が行なわれました。



救急隊による負傷者の処置及び搬送

約百五十人が参加し、つ起くるか分からぬ災害に迅速に対応できるよう今後も関係機関との連携を図っていきたいと思います。

集団災害事故訓練

自主防災組織



消火器取扱い訓練



消火栓取扱い訓練

消防署では、地域の自主防災組織の結束力と防災力を高めるために、災害発生時に地域住民が一體となって被害を軽減、拡大させないように、主防災組織へ消火器の取扱い訓練や公設消火栓の取扱い訓練を実施しています。



内之浦小学校では、毎年行っている校庭への避難訓練を考え直し、津波を想定した避難訓練を実施しました。先日の訓練では、学校の

記憶に新しい、東日本大震災による被害は甚大でした。いつおこるかわからない災害。みなさん、あれから何かしらの対策を講じたでしょうか。内之浦小学校では、毎年行っている校庭への避難訓練を考え直し、津波を想定した避難訓練を実施しました。災害時は、土砂崩れや停電等による交通障害があることも考慮して、いざというときに迅速に行動できるよう、避難場所や避難経路について考えておきました。

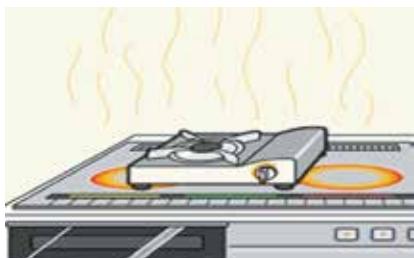


つなみ

カセットこんろの取り扱いにご注意を!

★カセットこんろは、携帯用として用途の範囲も広く、多くの場所で用いられています。特に、これから冬場の「鍋物」には、台所のテーブルで煮炊きできることから、使用が増えます。{カセットこんろ火災}の主な原因と対策の注意点は次のとおりです。

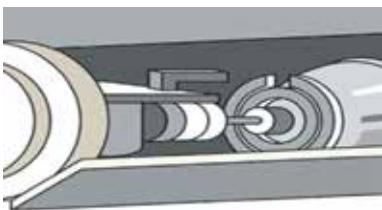
①電磁調理器上で使用しない



④調理以外の用途に使用しない



⑦ボンベは表示どおり正しくセット



②大きな調理器具を使用しない



⑤石綿やセラミック付きの魚焼き器を使用しない



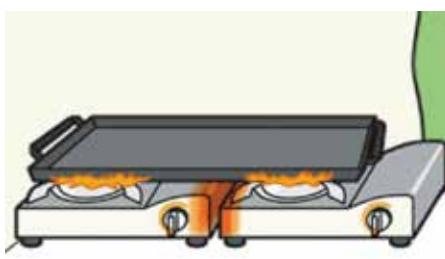
⑧テントや車内で使用しない



③火気の近くにボンベを置かない



⑥2台以上並べて使用しない



⑨廃棄の際はガスが残っていないことを確認して地域の取り決めに従い廃棄する



あなたの正しい取り扱いで火災は防げます!!



水難事故に注意



楽しい釣りも一步間違えば、常に危険と隣り合います。今年も当消防組合管内で多数の水難事故が発生しています。磯場での事故は道路から遠く足場も悪いため救助隊の到着にかなりの時間要します。悲しい事故を防ぐ為に下記の事を守りましょう。

あなたの帰りを待つて
いる家族の為にもルールを守って楽しい釣りにしましょう。

- 一人で行かず複数で
- 救命胴衣を必ず着用する
- 波が高い時は引き返す
- 釣りに行く場所と帰る時間を家族に伝えておく
- 安全な場所を確認する



表彰を受ける倉田光消防副士長

中央消防署特別救助隊員の倉田光消防副士長は、平成二十四年四月六日（金）霧島市で開催された「鹿児島県消防職員意見発表会」に出席して最優秀賞を受賞、大隅肝属地区消防組合発足以来初めての快挙を成し遂げました。

また、鹿児島県代表として、五月十一日（金）に宮崎市で開催された「九州地区消防職員意見発表会」に出席し、鹿児島県の消防本部でも初めてとなる奨励賞（第三位）を見事受賞しました。

倉田光消防副士長は災害が発生した際に積極的な行動をとれる生徒を育成する為避難訓練を通じ実践的な防災教育を取り組むことをテーマに今大会に臨みました。

初 九州地区消防職員 意見発表会

新 消防職員紹介

平成二十四年度十五人の新人消防士が加わりました。

皆様の身近な消防職員として覚えてください
①出身地 ②抱負

※今年度は四月採用十二名・十月採用三名でした。



①鹿屋市西原
萩原佳大（22歳）



①鹿屋市寿
藤田龍法（23歳）



①鹿屋市下高隈町
吉原貴大（20歳）



①錦江町
中村圭志（24歳）



①錦江町
川路英人（20歳）



①鹿屋市輝北町
上野直輝（20歳）



①肝付町
山下翔也（22歳）



①鹿屋市串良町
大保貴裕（22歳）



①東串良町
原田真人（18歳）



①鹿屋市吾平町
牧竜佑（18歳）



①鹿屋市西原
山下晃広（18歳）



①南大隅町
川田原高貴（18歳）



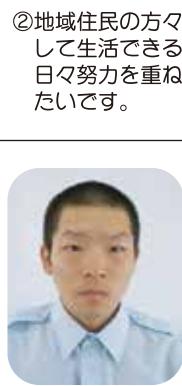
②地域住民の生命や財産を守る消防士として一生懸命頑張りたいです。



①肝付町
柳井谷昌志（22歳）



①肝付町
山下卓哉（22歳）



①鹿屋市今坂町
櫛下 隆（22歳）

②地域の方々の生命や身体を守るために一生懸命取り組み貢献、手助けをしたいです。

②地域の方々に頼られるような消防士になるために努力していきます。

②私の持つ資格・体力を生まれ育った地域の方々のために活かし貢献したい。